

宗岡中だより



5月号 令和4年 5月 2日(月)
志木市上宗岡1-8-1 TEL 048-471-2241

「コミュニティ・スクール」

校長 林 孝安

通勤途中の田んぼに稲が植えられるなど、心地よい風とともに新緑の美しい季節となりました。4月には、学年別に開催した学級懇談会、各部ごとの部活動保護者会に多くの保護者の方に御来校いただき、ありがとうございました。コロナ禍ですが、年度初めの早い時期に、やはり保護者の皆様と画面の中ではなく、直接顔を合わせる機会が持てることは、学校としてもとても有意義であると考えております。ご理解いただきありがとうございます。

さて本校は、コミュニティ・スクールを導入しています。これについて、改めてご説明します。

コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会を設置した学校のことを言います。国は、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るため積極的に導入を推進しており、全国的に広がっています。

これまでも学校・家庭・地域が連携し「開かれた学校」づくりを推進するために、学校評議員制度があり、委員の皆様方から学校の教育活動の計画・実施等に貴重なご意見をいただき、学校運営に役立ててきました。コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）では、下の図にあるように次の役割が示されています。「①校長が作成する学校運営の基本方針を承認する。」「②学校運営に関する意見を教育委員会又は校長に述べることができる。」「③教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べることができる。」の3つです。学校運営に地域の声を生かし、特色ある学校づくりを進めていくという視点では、学校協議会制度と同じですが、校長の学校運営方針を承認するなど、一定の役割が与えられており、これまで以上に「地域とともにある学校づくり」の推進に期待されているしくみです。また、学校評価についても説明し、ご意見をいただいております。

